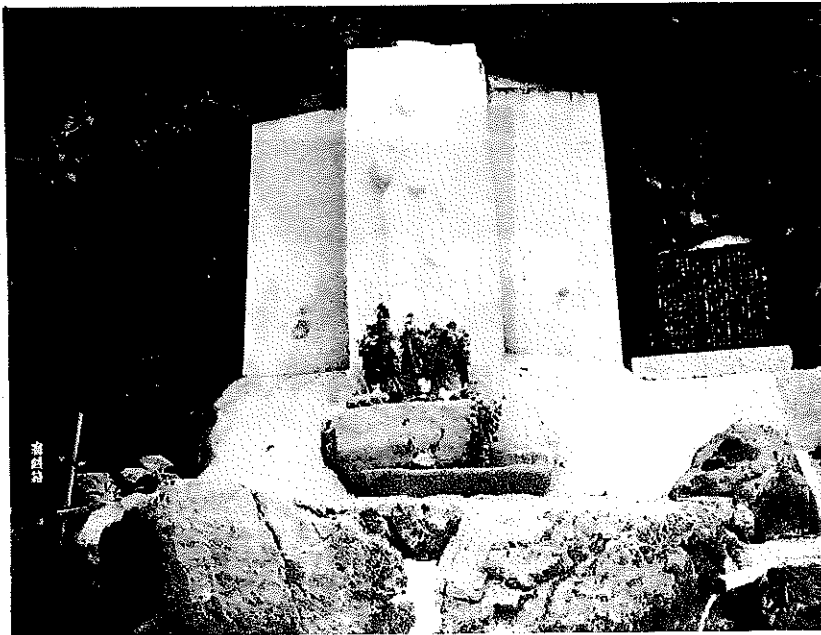


八乙女

薬師如来像建立



赤祖父林道脇「不動滝の霊水」

八月三十一日

不動滝の霊水

箭原 武平

私達の祖先は、八乙女山地に源流を持つ不動滝と、付近の山々の渓谷の清水と合流した西大谷川(山麓、扇状地に住みつき、辛酸刻苦、山を開き田畑を耕してきました。

水の通りそうなところは、努めて水田を造り水稻を、水の通らない山野には粟、稗、きび、大豆小豆を。桑を植え、蚕を飼い、山には樹木を植え、収穫した米は上納、貢物に供し、残った雑穀を食する貧困な生活をしながらも、後世の子孫へ美しい自然を残してくれました。物を作り、暮しに密着した不動滝を、衣食住の源とも慕い、清冽な美味な清水を「生命の綱」と尊び、崇敬し、信仰し、幾多の大小凶作、病氣、災厄に遭いながらもよく耐えて、後世の私達に偉大な遺産を授けてくださったことに皆様方とともに感謝いたしたいと思います。

近年、真夏でも枯れることのないこの不動滝の水を「霊水」と呼称して昇華していましたが、「とやまの名水」選の指定を受けたのを機に、このほど七村水郷の方々が環境整備の上、多数の人々の篤志により、薬師如来像が建立されました。

私は、この霊水と仏縁、自然と人生の温かさ、文化の光に遭える時世に感激いたしております。

なお霊水の効験を年譜的に参考に記しますと、

- (一) 天明四、五年の凶作と飢饉時に疫病の大流行。死者多数。
- (二) 天保年間の続く日照りと不作。
- (三) 安政五、六年間のコレラと疫痢、洪水と凶作。死者多数。
- (四) 文久二年の疫病による死者多数。

また近世では、明治二十八年のコレラ大流行の対策に、郡役所の命で避病院を建設したが、恐れた疫病も終息したという。

富山県児童クラブ 野球大会に参加して

六年 井上 茂

町の大会、郡の大会と勝ちぬぎ、県大会に出場することになった。南山見児童クラブは町の大会からがんばった。打とう若葉チームをめざし、みごと初優勝。そして郡大会をめざして毎日もう練習をつみかさね、決勝で福岡チームを破り県大会へいくことになった。

出場けいけんはもちろん初めてです。そして県大会にむかってもう練習。「まず一勝」を目標にいっしょうけんめいががんばりました。そして県大会の日。風が強かったがさいわいにも絶こうの野球日よりだった。

一回戦の相手、女良第一との試合、苦戦をしいられたが相手のピッチャーのコントロールが悪く、味方の打線もがんばり感げきの一勝。しかし、二回戦の相手が悪く、優勝チームの庄東だった。南山見もふんばったが負けてしまった。ぼくは県大会にて、やればでき

るんだということをしみじみと感じた。



ラジオ体操のつどい

八乙女の峰に真夏の朝日を望み、躍動を促すような光の中に、「第一回 南山見地区総ぐるみ ラジオ体操のつどい」を開催したところ、幼児、小中学生から老人クラブの方々にまで約三百名の参加がありました。

青少年健全育成事業に組み入れて、良かったーと思っています。

井波町の中では「南山見パワー」という言葉を聞いたことがあります。朝の短い時間であったものの、まさにそう感じた一瞬でした。そして、地区の皆さんの目で子供たちの健全な夏休みを過ごさせることができるだろうと思いました。

体力づくりレクリエーション 能登荒磯海岸めぐり

(村田)

雨具持参の最悪の状態で、一路目的地をめざし二台のマイクロバスで出発した。途中、雨もあがり雲の切れ目さえ見える好天となり、遊歩道の出発地点へ着いた時は、全く好条件に恵まれた海岸めぐりとなった。黒褐色の岩と青い海のおりなす絶景は、絵ハガキをめぐるごとく次々に展開された。途中、涼しい日本海の風に吹かれながらの昼食は、また格別であった。

寿賞のみなさん紹介

予定より少し遅れたが、充足感に満ちた一日として、各自帰宅されたに違いないと思っています。(亀田)

- | | | |
|--|-----------------------------------|---|
| 《米 寿》 | 《傘 寿》 | 《喜 寿》 |
| 三郎の郎よを
彦か次つな
村原芳本地
田篠長山菊 | 代いいiger
美江のシは
原江田田
篠直横高富 | 孝一よ作蔵をる
久孝ち豊有やは
村中口山本つ
田田山青山吉林 |
| ヨよよ郎子く之
チきみ市美き与
倉村田菊寿田嶋
朝福前谷倉沢高 | | |

第九回

南山見地区文化祭

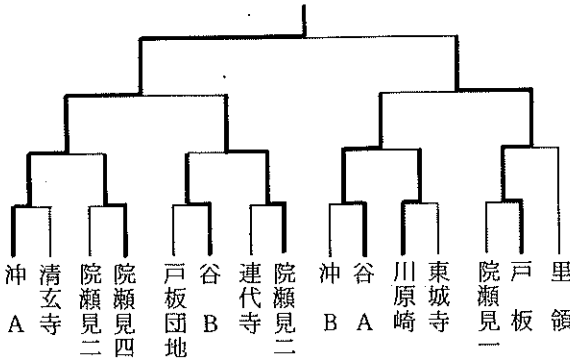
十一月十六日(日)

みんなで文化の輪を広げよう

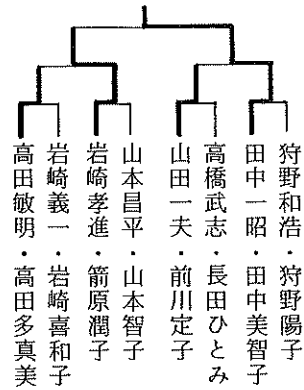
第七回 バレーボール大会

(8/17)

- 一位 沖Aチーム
- 二位 戸板チーム
- 三位 院瀬見第二チーム



決勝トーナメントの結果



スポーツの記録

第七回 南山見地区体育祭

(9/28)

- 総合優勝 5組(院一・二)
- 次勝 1組(院三・四)
- 参勝 4組(戸・里・川)
- リレー優勝 2組(東・清・連)
- 次勝 4組(戸・里・川)
- 参勝 5組(院一・二)

第三回 南山見壮年部

マレットゴルフ大会 (7/13)

- 団体 一位 沖チーム
- 二位 戸板チーム
- 三位 院瀬見第二チーム
- 個人 一位 川縁文治
- 二位 谷田隆信
- 三位 武田健一

第七回 町民マレットゴルフ大会

(7/20)

- 団体三位 沖チーム
- 個人六位 村田文夫

第二回 井波町

ビーチバレーボール大会

(9/3~9/5)

- 四十才以上の部 (参加12チーム)
- 一位 山田敏行・武田十四子チーム
- 二位 松井泰範・松井正子チーム
- 三位 井上辰夫・井上智子チーム
- 女子34才以下の部
- 優勝 沖むつみ会Aチーム
- 次勝 院瀬見さんざしBチーム
- 女子45才以上の部
- 優勝 南友クラブチーム
- 次勝 沖チーム
- 男子35才以上の部
- 優勝 里領チーム

第七回 井波町老人クラブ

ゲートボール大会 (5/30)

六位 南山見Bチーム

第六回 両砺波

ゲートボール大会 (7/1)

コート優勝 南山見チーム

第十五回 井波町

老人スポーツ大会 (9/26)

優勝 南山見チーム

第四十一回 井波地区連合青年団

陸上競技大会 (6/1)

女子次勝 南山見青年団

第二十才未満の部 (参加42チーム)

- 一位 田中一昭・田中美智子チーム
- 二位 岩崎孝進・箭原潤子チーム
- 三位 高田敏明・高田多真美チーム

第二回 フレッシュユテニス大会

(6/23~6/29)



谷お盆納涼大会を

終えて

今年も、恒例のお盆納涼大会を、大森神社境内の谷公民館前で開催致しました。日頃から、部落の皆さんにお世話になっている事に感謝しまして、青年会主催で始まったこの会も、毎年会を重ねる毎に盛況になってまいりました。

パーベキューで舌鼓をうち、生ビールで喉をうるおし、大いに歌って踊って親睦を深める絶好の機会でした。

た。里帰りの懐かしい顔もありました。普段は隣でも、ゆっくり話す機会のない今日このごろ、この様なイベントは皆さんに喜ばれています。

谷はもともと仲の良い部落ですが、それでもこういう企画は大変有意義だと思えます。天候も心配されましが最後までもち、チビッコのど自慢や、花火大会に子供達の笑顔を見るにつけ、世話をした一人として、一安心した次第です。来年も盛り上げたいと思います。(山本武夫)

◇いいききグループ紹介◇

院瀬見 さんざし会

さんざし会、このグループが誕生したのは、昭和四十四年、今から十七年前のこと。若妻の教養を高め、生活文化の向上をはかるという目的で発足されたものらしい。「さんざし」というのは、バラ科の落葉樹で、よく漢方薬に使われる丈の低い木で、春に白色の小さな花が咲くらしい。残念なことにはまだ一度も見ることがないのです。まっ

と可憐で印象的な花だろうと想像しています。

現在会員十八名。月に一度、スポーツ・手芸・料理・パーベキューといろいろな行事に取りくんでいます。今年初めての試みで納涼大会に参加させていただき、かき氷にチャレンジ。悪戦苦闘しながらもなんとか「成功」かな？ いつもみんな集まれば、子供の事、家の事と話の尽きないにぎやかなグループです。これからいろいろな事を話し合い、助け合い、行動できるグループでありたいと思います。(高橋幸子)

受賞おめでとう

第29回

大砺波圏保健衛生大会表彰

箭原 幸吉(前公民館長)

ハエやカの撲滅や清掃、花と緑の整備促進で環境美化に貢献。

南山見婦人会

緑化運動、栄養教室、ねずみ駆除を通じ環境衛生向上に努力。

第16回

井波町児童クラブ凧上げ大会

* 四年生以下 優秀賞「アニメ号」

朝倉隆宏、小橋清致、小橋涼二

* アイディア賞「サイコロ号」

岩崎幹茂、岩崎雅且、池田久範

* 努力賞「空とぶ飛行機号」

山田篤嗣、山田洋嗣、篠原純也

* 努力賞「てんと虫号」

山本武司、篠原正和、長田賢昭

* 五・六年生 優秀賞「大空号」

高橋卓也

前川寛子

* 技能賞「スカイジャングル」

岩崎泰明、箭原 智、箭原 誠

箭原康人

* アイディア賞「5128号」

林 友一、須川栄一、林 雅之

須川尊久

* アイディア賞「三連かかし凧」

朝倉裕子、岩崎敬子、朝倉加代子
* 努力賞「友だちダコ」

前田春美、佐藤裕美、前田紀子

前田祐子

* 中学生 優秀賞「双子あんどん」

亀田博義、谷田勝孝

第三回

ビーチバレーボール大会

十二月一日〜十二月六日

編集後記

懸念された今年の米作も、まずは平年作以上とか。しかし、安心ばかりでいられない厳しい世。コメ輸入論議の嵐の中、来年の転作。重大な転機に立たされていく農政問題。日々に深刻さを増している円高不況。新しい村起こし、新たな飛躍を期して、古くからの伝統と現状を冷静に見直す時機にきているようです。各行事、運動も順調にこなされ、先日の体育祭も盛況のうちに幕。十一月の文化祭も近づいています。より一層のご協力をお願いします。駐車場も少し広く美しくなり、グラウンドも整備されました。秋も深くなりました。

鶏頭を抜けば来るもの風と雪

— 林火

(K)